

# 31-0731

## 不完全菌 *Trichurus terrophilus* の免疫抑制活性成分 (その3)

藤本 治宏<sup>1</sup>, 岡本 佳恵<sup>1</sup>, 曾根 絵里子<sup>1</sup>, 前田 里美<sup>1</sup>, 秋山 幸生<sup>1</sup>,  
石橋 正己<sup>1</sup> (<sup>1</sup>千葉大院薬)

【目的】不完全菌 *Trichurus terrophilus* から発見されたリンパ球幼若化抑制活性 (LT 活性) 2-pyrone 系新成分 TT 類につき、同菌からの更なる探索を目指した。

【方法】*T. terrophilus* 培養菌体の EtOAc 抽出物を LT 活性を指標に溶媒分画、クロマト分画して多数の TT 類を単離し、各種性状や NMR スペクトルデータ等から構造を解明し、又、LT 活性を測定した。

【結果および考察】TT 類については、2000 年に我々は *T. terrophilus* からの LT 活性成分 TT-1 ~ 6 の単離と TT-1, -2 の平面構造を発表。一方、同年に早川らは TT-1 と同じ平面構造を有する *Talaromyces* sp. からの rastonin を発表。2003 年に我々は TT-1 の絶対構造を発表。という従来の経緯がある。今回の精査で、TT-6 は TT-4 と同一と判明し一旦消滅。従来の TT-1 ~ 5 に加え新たに得られた 6 種を TT-6 ~ 11 とし下記各構造を推定した。LT 活性は、TT-1 (Con A, LPS 誘導ウス T, B 細胞増殖への IC<sub>50</sub>: 0.7, 0.5 μg/ml) に比べ、他の TT 類の多くは少し低い。

